

openSUSE 初心者の館

Q1: openSUSE ってなに? なんて読むの?

Linux ディストリビューションの1つで、Windows や Mac と同じ OS の1つです。オープンソースと読みます。SUSE はドイツ語で Software und System Entwicklung の略です。

Q2: 他のディストリビューションと比較して、どのような特徴があるの?

最大の魅力は、統合管理ツール YaST (やすと) です。インストール、パッケージ管理、ハードウェアの設定、サーバーの設定、ユーザーの管理などを簡単に行うことができます。テキストエディタで難しい設定ファイルを変更する必要はありません。テキストベースの UI もあり、もちろん SSH の先にあるサーバーも設定できます。

とても使いやすく、初心者からベテランまでおすすめです。

Q3: マスコットのカメレオンの名前は?

Gecko (ぎーこ) といいます。geek + gecko (やもり) とかけたのが由来です。

Q4: SUSE Linux Enterprise (SLE)との違いは?

Tumbleweed は最新の技術を取り込みながら、その成果を SLE に提供する役割を担っています。Leap 15 では、SLE と共有するパッケージをコミュニティと SUSE のエンジニアが協力して保守しています。openSUSE のサポートやセキュリティパッチはコミュニティによる相互扶助によって提供されています。

openSUSE 日本語コミュニティ

opensuse-ja メーリングリスト — 質問などはここが一番!

参加方法 1. opensuse-ja+subscribe@opensuse.org宛に受信したいメールアドレスから空メールを送る。2. メールアドレスを確認するメールがすぐに返ってくるので、そのまま返信する。

過去のメールは Web ブラウザから読むことができます:

<https://lists.opensuse.org/opensuse-ja/>

日本 openSUSE ユーザ会勉強会・openSUSE mini Summit

不定期に関東・関西で行っているアットホームなイベントです。

IRC openSUSE 定例

毎週日曜夜 8 時から FreeNode の #opensuse-ja チャンネルに集まりチャットをしています。Konversation などの IRC クライアントで接続してください。

SNS

Twitter: [@opensuseja](https://twitter.com/opensuseja) フォローすると多くの openSUSE ユーザを見つけられます

Facebook: <https://www.facebook.com/opensuseja>

日本語フォーラム

日本語で質問ができる新しいオンラインフォーラムです: <https://forum.geeko.jp/>



お問い合わせ先

日本 openSUSE ユーザ会: <https://opensuse.geeko.jp/>
openSUSE 公式サイト: <https://ja.opensuse.org/>

Geeko Magazine

Leap 15 初のマイナーアップデート openSUSE Leap 15.1

Vol. 19



openSUSE.Asia Summit 2019 をインドネシアのバリ島で開催しました。インドネシアのコミュニティはとてもアクティブで、約 350 人が集まり、今回もとても賑やかなイベントとなりました。



発行: 日本 openSUSE ユーザ会



Leap 15 初のマイナーアップデート openSUSE Leap 15.1

2019年5月22日に openSUSE Leap 15.1 がリリースされました。Leap 15.1 は1年前にリリースされた SUSE Linux Enterprise (SLE) 15 SP 1 をベースとした安定志向ディストリビューション Leap 15 シリーズのマイナーアップデートです。マイナーアップデートのため、15.0 からの変更点はあまり多くありません。

カーネル

バージョンは 4.12 ですが、ABI を維持したまま多くのドライバなどがバックポートされています。グラフィックカードは 4.19 からバックポートされており、AMD Vega を搭載したカードに対応しています。サウンドカードドライバは 5.0, 5.1 からバックポートされました。openSUSE Conference 2019 でのカーネル開発者の岩井さんの講演によると、パッチの数は 15.0 の 22,493 個から 46,252 個に増えたそうです。WiFi やストレージ関連のドライバも更新されました。

※岩井さんの講演は YouTube で見るができます: <https://www.youtube.com/watch?v=oaJd2E6owyU>

Snapper

Snapper でスナップショットが実際のディスク使用量を表示できるようになりました。Snapper は Btrfs のスナップショット機能を使用しているため、ファイルシステムレベルでスナップショット間で変更のないデータを複製せずに共有しています。そのため、du コマンドでは複数のスナップショットが使用される実際のディスク量を求めることはできませんでした。使用量を表示するには btrfs quota enable コマンドで quota 機能を有効にしておく必要があります。

YaST

15.0 でデフォルトのファイアウォールは SuSEFirewall2 から Firewalld になりましたが、YaST では直接設定ができませんでした。15.1 では YaST からゾーンの設定やサービスの有効化、ポートの設定ができるようになりました(右上スクリーンショット)。

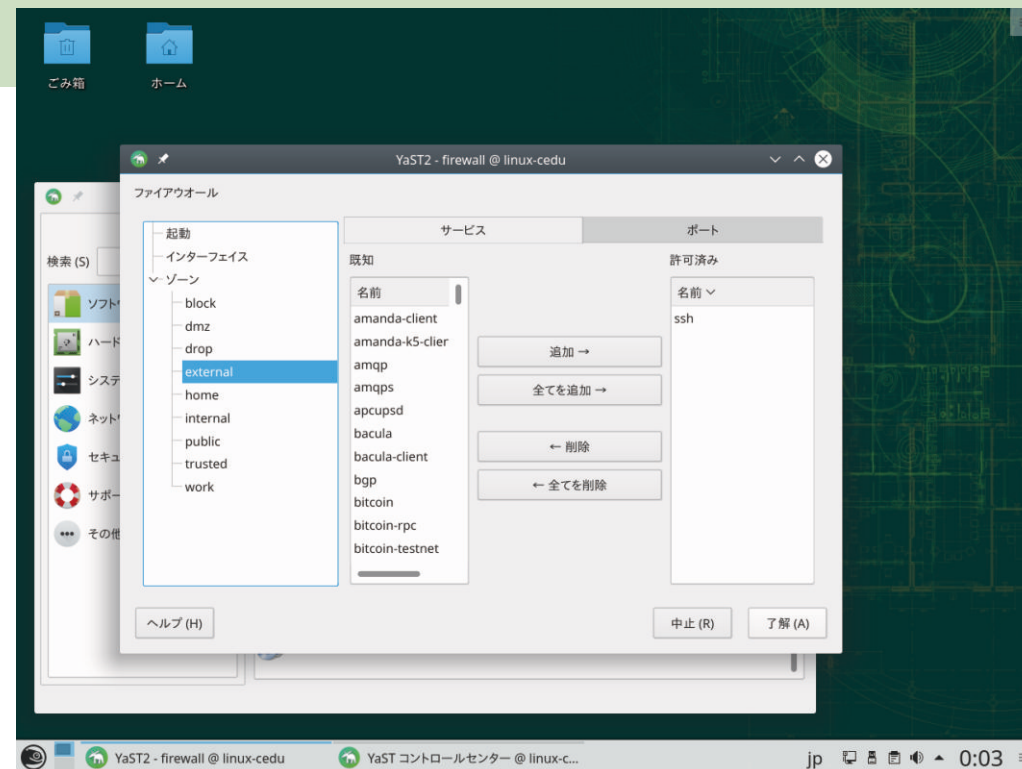
アプリケーション

アプリケーションは全体的に Tumbleweed から最新バージョンが取り込まれています。LibreOffice は 6.0 から 6.1 に更新されました。Konsole や Okular といった KDE アプリケーションも 17.12 から 18.12 に更新されました。

新元号「令和」への対応も行われています。多くのアプリケーションが依存する glibc が更新されました。また、Mozc では「令和元年 5 月 1 日」のような日時変換や、U+32FF (令和の合字) の入力に対応しました。この U+32FF は新しい IPAex フォントで表示することができます。

ライフサイクル

openSUSE Leap 15 の次のマイナーアップデートの 15.2 は、1 年後にリリースされる見込みです。ただし、SLE 15 SP2 のリリース計画の影響を受けて変わる可能性があります。また、openSUSE Leap 42 は 2019 年 6 月にすべてのバージョンのサポートが終了し、15.0 のサポートも 11 月に終了します。まだ使用している方は Leap 15.1 か SLE 12 SP4 にアップデートをして下さい。



openSUSE.Asia Summit 2019 Bali, Indonesia

10月5日から6日にかけて、インドネシアのパリ島の Udayana 大学で openSUSE.Asia Summit 2019 が開催されました。今回で 6 回目の開催で、インドネシアでの開催は 2016 年のジョグジャカルタに続き 2 回目です。地元のインドネシアを中心に約 350 名が集まり、アジア (台湾 6 人、日本 5 人、他) はもちろん、今年はヨーロッパ圏からも参加者が集まり、盛大に開催されました。

インドネシアスタイルの国歌斉唱とダンスクラブによる伝統的な踊りで始まり、openSUSE Board chair に着任したばかりの Gerald Pfeifer による基調講演 (写真) もありました。講演とワークショップの数は 50 件を超え、Kubic (コンテナホスト向けディストリビューション)、Uyuni (システム管理) といった openSUSE 関連プロジェクトの内容から、Portainer といったコンテナ、LibreOffice などのデスクトップアプリケーション、コミュニティ管理やイベント運営といった様々な内容の講演が集まりました。

Geeko Blog で参加レポートや動画をチェック ! :

<https://blog.geeko.jp/ftake/2318>

